

広聴広報委員会会議記録（概要）

令和7年2月12日（水）

開 会（午後3時20分）

【議 事】

○市議会のしおりについて

秋田委員長

初めに、市議会のしおりについてです。議会報告会や政策討論会などで、市民に配布している「市議会のしおり」ですが、通年会期制の施行に伴う内容を反映した原稿案を事前に配信しています。こちらの原稿案について修正箇所や御意見などありましたら、お願いします。

花岡委員

複数点ある。1点目が1ページについて、議員定数33人という記載があるが、本則は37人であり、附則である33人を記載すると誤解されやすくなってしまふのでなくしたほうがよいと思う。みみ丸の名前は33人に由来しているのか。2点目が、2ページについて、議会図書室に関する記載がなくなっているが、これはあったほうがよいと思う。3点目が、同じ2ページの「会派」の項目についてだが、以前は「議決にあたっていろいろな考え方があるときは、多数決により決しますが、その際、同じ考えを持つ会派での活動が効果的になります。」という記載があったが、それがなくなっている。これは以前にあった「市議会が議決するおもな事項」が削除されたことに関連した変更ということか。4点目が、4ページに「みなさんと市議会」という項目があるが、5ページ目、6ページ目も同じ表

記になっているので、修正したほうがよいのではないか。また、これは確認だが、6ページの「請願書（紹介議員のある陳情書含む）を作成する際に留意していただく点」に「署名は自筆に限ります。」と記載されているが、議会運営委員会の中で電子署名について議論されているので、このような記載でよいのか。また、「日本語の文書で提出してください」と記載されているが、自治法上の根拠はあるのか。加えて、以前は「審議の結果は、請願・陳情の代表者にお知らせします」という記載があったが、これはお知らせしなくなったから削除したのか。

議会事務局

1点目についてですが、みみ丸の名前の由来ですが、議員定数が33人であることと、市民の声に33（耳）を傾けるということから名づけられていますので、広聴広報委員会のイメージマスコットとして記載しております。2点目の議会図書室についてですが、スペースの都合上、削除しました。3点目の会派についてもスペースの都合上、簡潔に記載しております。4点目の「みなさんと市議会」という表題については、ページごとに表題を付けていますので、同じものを記載しています。また、請願に関してですが、日本語の文書での提出を求めていることについては、所沢市議会会議規則第135条に「請願書には、邦文を用いて、請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所（法人の場合は、その所在地及び名称）を記載し」と定められておりますので、そこを引用しております。署名についてですが、こちら同規則に署名又は記名押印をしなければならないと記載され

ておりますので、そちらを引用しております。

花岡委員

請願、陳情について、代表者にお知らせしますという文言が削除されたことについてはどうしてなのか。

議会事務局

記事のスペース上の都合から、請願の際の必要事項について簡潔に掲載しております。

花岡委員

みみ丸の名前の由来という理由は分かるが、議員定数33人について、本則は37人なので、勘違いをさせてしまうので不適切だと思う。この説明を削除することはできないのか。

議会事務局

繰り返しになりますが、みみ丸の説明として、議員定数33人であることと、市民の声に耳を傾けるという名前の由来を掲載しております。

斉藤委員

花岡委員と事務局の両方の説明は理解できるので、議員定数という表記ではなく議員33人と修正するのはどうか。

石本委員

これについては、もともとみみ丸の名前は公募して、全国から約220通の応募があった。その応募者の意見を反映して今に至る。花岡委員の言うように議員定数は条例の本則では37人だが、応募された方の御意志を

尊重して、修正や削除する必要はないと思う。また、37人という記載では物議を醸すと思うので、現状は33人で議会活動をしているし、先日の議会運営委員会でも来期の選挙における議員定数については33人という事で確認されたので、その点も尊重して33人という記載でよいと思う。

花岡委員

斉藤委員、石本委員の意見は分かったが、2ページ目には「本則で37人、附則で当分の間33人と規定されています。」と記載されているので、1ページ目にも本則について記載を加えられないか。

秋田委員長

2ページ目に詳細な記載がありますが、1ページ目に記載しなければいけないと主張される理由を伺いたい。

花岡委員

1ページ目に議員定数が33人と記載されていると、市民は議員が33人だと思ってしまう。しかし、本則で37人で当分の間33人で運用されている。しかし、33人が普通だと思われてしまうという懸念があることだ。

秋田委員長

石本委員の発言にもありましたが、議会運営委員会で決定しているので、問題はないように思いますが、他にこの件に関して意見のある方はいらっしゃいますか。

中委員

花岡委員の意見も理解できるが、2ページ目に詳細に説明が記載されているし、みみ丸の名前の由来もあるのだから両方を残す必要がある。加えて、2ページ目に説明が記載されているが、1ページ目はみみ丸の注釈としての記載なのだから、私はこの原稿案でよいと思う。

中井委員

議員定数という表現が気になるので、斉藤委員の意見のように議員の数、議員の人数という表現にしてほしい。

中委員

意見は分かるが、市議会議員選挙の際にも33人という記載だったと思う。

石本委員

行政用語として議員定数と議員数は意味が違うのではないか。私が1期目の時は議員定数36人で議員数33人で3人欠員となっていた。何気なく使っている用語でも注意が必要ではないか。また、先ほども言ったが、応募してきた方の御意志を尊重しているということも考えてほしい。

秋田委員長

それでは修正なしということによろしいでしょうか。

(委員了承)

秋田委員長

それでは、市議会のしおりの原稿確認、校正は以上となります。

○市議会だよりについて

秋田委員長

次に、来年度の市議会だよりの校正会議についてです。来年度の市議会だよりの校正会議は、4月18日（金）、7月24日（木）、10月22日（水）、令和8年1月23日（金）の、いずれも午前10時から開催する予定ですので、御承知おきください。

○来年度の議会報告会、政策討論会について

秋田委員長

次に、来年度の議会報告会、政策討論会についてです。来年度の議会報告会について、先日、早稲田大学より開催時期の回答があり、大学としては11月中の開催を希望するとのことでした。開催場所を含め詳細については今後協議していくこととなりますが、大学側から開催時期が示されたことから、来年度の開催時期について本日決定したいと思います。高校生を対象とした議会報告会は、12月18日の委員会で報告したとおり、7月下旬から8月の夏休み期間中に2回開催することとし、11月に、早稲田大学の学生と市民を対象とした議会報告会を、それぞれ1回ずつ開催することでよろしいでしょうか。

(委員了承)

秋田委員長

それでは、開催時期については、そのように決定いたします。来年度は

議員任期の3年目ということで、所属委員会の変更が予定されていることから担当議員の割り振りは、後日決定したいと思いますが、何か御意見はありますか。

石本委員

議会報告会は5月と11月に開催していたので、これまではこの時点で担当議員を決めていた。今回は7月、8月に高校生向けの議会報告会を開催する予定であり、5月15日に委員会のメンバーが決まるが、7月、8月は地域のお祭りなどがあるし、委員会視察も始まるので、ある程度担当者を決めておいて、事前に予定を開けていただいたほうがよいと思う。足りない部分は後から微調整すればよい。

秋田委員長

石本委員から提案がありましたが、2月定例会中に担当者を割り振るといふことでよろしいでしょうか。

(委員了承)

石本委員

市民向けの議会報告会は11月に行うということだが、これまで広聴広報委員会で開催方法等について議論し、今年度は高校生向けの議会報告会を開催した。その過程で様々な意見があり、来年度は市民向けの報告会を行うこととなったわけだが、市民向けの報告会の開催を強く望んでいた方々には、ぜひとも担当してほしい。また、一期目の議員の方々にも経験

を積んでほしいと思う。

大館委員

石本委員の意見にもあったが、高校生向けの報告会は5、6年かけて議論して開催に至ったわけだが、それをまた変えるということなので、市民向けの報告会の開催を強く望んでいた方々にはしっかり対応してほしい。

花岡委員

しっかり対応ということはどういうことか。

石本委員

市民向けの報告会の開催を強く望んでいたなので、率先して対応していただきたいという意味である。

中委員

歴史的にも長い話であり、いろいろな努力をして高校生向けの報告会の道が開けてきた中で、市民向けの報告会の開催を望んだ方々には責任を持って、市民への報告をしていただきたい。

長谷川委員

石本委員から一期目の議員にも市民向けの報告会に参加してほしいという発言があったが、中には高校生や早稲田大学の学生と報告会に参加を希望する方もいると思うので、その辺りは調整してほしい。

石本委員

報告会は1回当たり8人で対応しているので、一期目の議員全員が市民向けの報告会に対応するというわけではない。

秋田委員長

私も市民向けの報告会にはこれまでたくさん出席してきました。その中で、特に司会をやらせていただいた回数も非常に多いです。司会者によって報告会の進行が決まるので、一期目の議員の皆さんには判断することを経験していただいて、新たなバージョンをつくっていただければと思います。続いて、政策討論会についてです。今年度の政策討論会は市民文教常任委員会の主催により、2月8日に開催されました。所沢市議会政策討論会実施要綱では、「討論会の開催日時、会場及び討論テーマは、広聴広報委員会において協議する」「討論会に参加する議員は、討論テーマの決定後速やかに募集する」とあり、常任委員会や議会運営委員会、特別委員会で開催しない場合は、広聴広報委員会の主催で開催することになります。来年度の政策討論会について、何か御意見はありますか。

石本委員

今年度は市民文教常任委員会の主催だったが、昨年度は新人議員5人で開催した。まだ政策討論会を経験していない新人議員の方もいらっしゃるが、これまでの経験上から任期の4年目は選挙が近くなるので委員会での開催は大変だと思う。また、5月から通年会期制が始まるが、7、8年議論してきた上で導入となるので、通年会期制に移行してみてもどうかなのか、見えてきた課題もあると思う。広聴広報委員会の委員長から議会運営委員会での開催を打診するという方法もあると思う。

大館委員

通年会期制には自治連合会が反対したり、執行部の部長も反対していたので、通年会期制をテーマとして政策討論会を開催したほうがよいと思う。

神戸委員

私も通年会期制をやってみての意義等を市民向けに説明するよい機会だと思う。任期4年目は委員会主催での政策討論会の開催は難しいということなので、新人議員の政策討論会を開催したいと思う。

秋田委員長

3人の委員から意見がありましたので、3年目は広聴広報委員長から議会運営委員長に通年会期制についての政策討論会を開催していただきたいという打診をしたいと思います。また、4年目には新人議員による政策討論会を開催するということによろしいでしょうか。

(委員了承)

散 会 (午後3時50分)